

2026 年 8 月 3 日

**気象庁発表の最新の警報・注意報、氾濫危険情報のデータをいち早く配信
新たな防災気象情報に対応した防災気象情報 API を提供開始
～企業や自治体のシステム・BCP 基盤と連携し、防災行動の迅速化を推進～**

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、2026 年 5 月 29 日の改正気象業務法施行に伴う新たな防災気象警報に即座に対応し、各種自社コンテンツへの反映を完了しました。これに合わせ、企業の BCP(事業継続計画)対策や自治体の防災システムなどへの迅速な組み込みを支援するため、新たな防災気象情報に対応した防災気象情報 API の提供を開始します。

当社は長年にわたり、高精度かつ高解像度な気象データの提供を通じて、企業や自治体の新たな価値創造と防災対策の最適化を支援してまいりました。これまでのデータ運用で培った豊富な実績と知見を基盤とし、24 時間体制の監視下にあるデータを利用することで、最新の制度に準拠した正確な防災情報をリアルタイムに連携させることが可能となります。例えば IoT 機器と自動連携し、大雨警報発令時に工場の防水シャッターを自動閉鎖する、市町村や企業の自社ウェブサイトには防災情報を自動表示する、といった迅速な防災アクションを実現します。当社は本 API の提供を通じ、企業や自治体の BCP 対策の自動化と、社会の防災・減災 DX を推進することで、強靱なまちづくりに貢献してまいります。

お問い合わせはこちらから	WxTech®データの詳細はこちらから
https://wxtech.weathernews.com/contact/inquiry/	https://wxtech.weathernews.com/products/data/

 WxTech®Data		新たな防災気象情報に対応した防災気象情報APIを提供開始		
	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

◆改正気象業務法に対応した防災気象情報 API

本サービスは、気象庁が発表する最新の防災気象情報をクラウド経由の API でリアルタイムに提供するものです。企業や自治体は拠点などのピンポイントな防災情報を瞬時に取得することができます。

これまで、気象情報を人の目で確認して判断することが主流でしたが、本 API によりシステムや IoT 機器と連携させることで、迅速な初動対応が可能になります。例えば、製造業やビル管理においては、現場周辺の大雨警報をトリガーに工場の防水シャッターを自動閉鎖し、浸水被害を未然に防ぐことができます。また、物

流や EC、製造事業者などのウェブサイト上に防災情報を自動表示することで、ユーザーや社員への注意喚起や配送遅延リスクの事前アナウンスにご活用いただけます。

◆データの概要

気象警報・注意報 API

提供要素	・気象庁注意報警報細分コード ・警戒レベル ・発表時刻 (ISO 8601 形式、JST) ・警報・注意報名称 ・警報・注意報種別 ・警報・注意報コード
データ更新間隔	随時更新 (気象庁の発表で都度更新)
提供対象エリア	日本国内
レスポンス仕様	JSON 形式

氾濫危険情報 API

提供要素	・洪水予報区コード ・洪水予報区名 ・警戒レベル ・発表時刻 (ISO 8601 形式、JST) ・氾濫警報・注意報名称 ・氾濫警報・注意報コード ・見出しテキスト (例: 警戒レベル3相当情報 ○○川では、避難判断水位に到達)
データ更新間隔	随時更新 (気象庁の発表で都度更新)
提供対象エリア	日本国内
レスポンス仕様	JSON 形式

◇天気を味方に気象データでビジネスのチャンスを生み出す「WxTech® Data」

ウェザーニューズが提供する気象データ提供サービス「WxTech® Data (ウェザーテック データ)」は、高精度・高解像度の気象データと企業のビジネスデータを掛け合わせ、新たな価値を生み出すサービスです。独自観測網による高解像度の 1km メッシュ天気予報や過去の実績データを、使いやすい API 形式で提供し、企業の既存システムとのスムーズな連携を実現します。

日々の天気や気温の変化は、消費者の購買行動に大きな影響を与えます。自社の売上実績や来店データと気象データを掛け合わせることで、気象と売れ行きの関係や、気象と電力需要の関係を把握することができます。効率的な在庫・仕入れ管理、天候連動型のマーケティング施策などにご活用いただけます。